

## 「命と暮らしを守る」政権構想

立憲民主党の枝野幸男代表は5月29日の記者会見で「支え合う社会へ」と題して、ポストコロナ社会の社会・経済・政治の方向性について自らの構想を発表しました。

### ①過度な自己責任論から

⇒「互いに支え合う社会」へ

### ②目先の効率性に拘泥する経済から

⇒「未来志向の分散型経済」へ

### ③行き過ぎた小さな行政と政府不信から

⇒「信頼できる機能する政府」へ

枝野代表は「こうした社会・経済・政府をしっかりと作りあげていかなければならない。そのために、幅広い皆様のご意見やご議論をいただき、自公政権に代わる政権を樹立したい」と政権交代への強い意欲を訴えました。



## 買収の構造を明らかにせよ！



6月17日に通常国会が閉会し、その翌日に河井克行前法相と河井案里参議院議員が、公職選挙法違反の容疑で東京地検特捜部に逮捕されました。現職の国会議員が逮捕されるのは異例であり、法務大臣経験者が逮捕されるのは前代未聞です。

安倍総理は記者会見で「大変遺憾であり、かつて法務大臣に任命した者として責任を痛感しております。」と述べましたが、実際に責任を取ることはありません。立憲民主党の安住淳国会対策委員長は「総理大臣として法務大臣に任命した責任や、自民党総裁として1億5000万円を振り込むという特別扱いをした責任など、一番大きな責任は安倍総理にあるのではないか。」と述べ、閉会中でも予算委員会での集中審議を強く求めています。



安倍総理も ゴマスリ議員ももう要らない！

# 本気で「命と暮らしを守る」政権を作ろう！

安倍政権によるコロナ禍への対応を総括し、同じ失敗を繰り返さないために。

## 崩れ始めた「なんとなく安倍支持」

森友、加計、桜を見る会 ...。腹は立つけど自分の暮らしに直接影響はない話だから、みんな見てみぬフリをした。しかし、コロナ禍は違った。総理が独断で決めた学校休校。卒業式や入学式、修学旅行は中止になる。9月入学で学習の遅れを取り繕うとするも、早々に破たんした。非正規社員が切られ、収入ゼロの世帯が増えた。

正社員ですら仕事がなくなり、給料は増えない、夏の賞与ゼロも発表され、解雇の危機にも直面している。

## 失策のオンパレード

自粛自粛で外には出るな。潰れるから無理して営業する店は自粛警察の槍玉に。休業しても家賃はかかる。自粛は求めても補償は何一つ伴わない。PCR検査機器を増やしたと自慢したが検査件数は増えず、検査を受けられず自宅待機を指示されたまま亡くなった方も出た。

なかなか届かなかった布マスクは使えない代物。ゴタゴタの未決まった10万円の給付はおろか、申請書類の到着も遅かった。支援金や助成金も煩雑大量の申請書類。国民が怒って当然だ。

## 支持率を下げたトップは二人

どの国でもこんな緊急事態に直面すると、権力を握る政権の支持率は上がるのが常だ。(ノヘ)

ところが、米国トランプ大統領と安倍総理だけは、揃って政権支持率を下げた。いかに両国のリーダーが愛想を尽かされているかがわかる。給付金10万円も雀の涙。まだ届かない人すらいる。整理解雇、店舗休業・閉鎖、倒産が相次ぎ、全く見通せない将来を案じ、自ら命を落とす人も出てくる。「日本は成功した」と記者会見で自慢しても、官僚が用意した原稿を読むだけだから、全く響かないし共感できない。

## その次の一歩へ。

いずれコロナは収束するだろうが、政府や政権の無能さに怒りをぶつけるだけではダメだ。大胆に予算を組み換え、予防と投資でさらに強靱なウイルスとの戦いに備えなければならない。基礎研究への潤沢な投資、IT基盤の整備強化、環境エネルギー政策の大転換。行政手続きの簡素化、早急に危機対応の総括反省と台湾などの先進的な取り組みを検証する機関を設置すべきである。医学的な見地から政府に助言を行ってきた専門家会議の議事録公開でさえ出来ない安倍政権には、お引き取り願おう。



立憲民主党滋賀県第2区総支部

〒522-0038 滋賀県彦根市西沼波町 35-1

TEL : 0749-21-1003 FAX : 0749-21-1004

e-mail : issei@pop.biwako.ne.jp HP : http://www.tajimaissei.com/